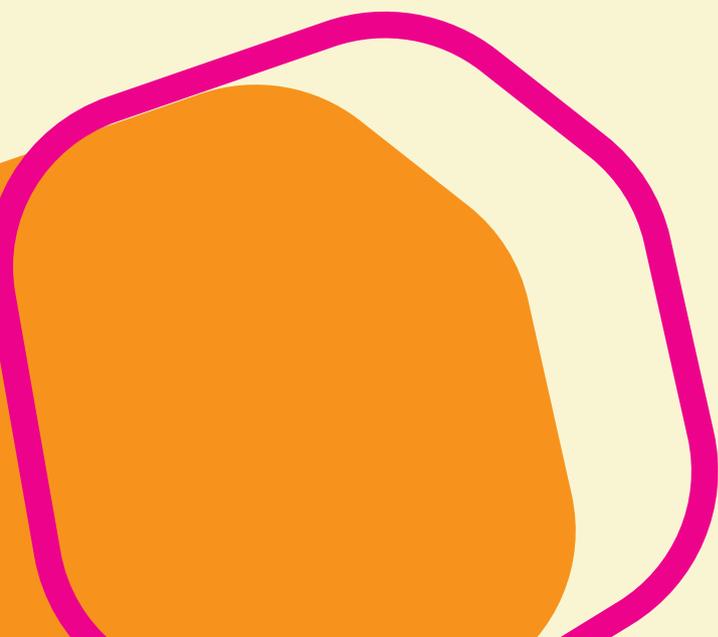
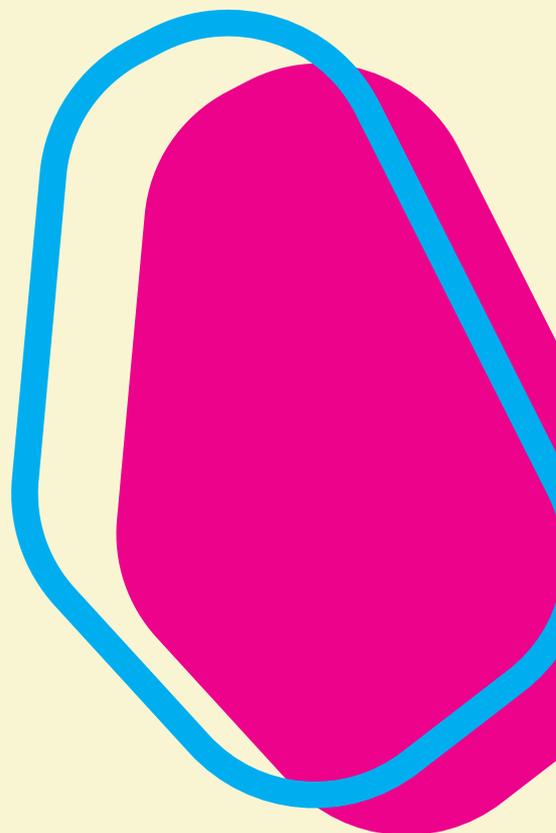
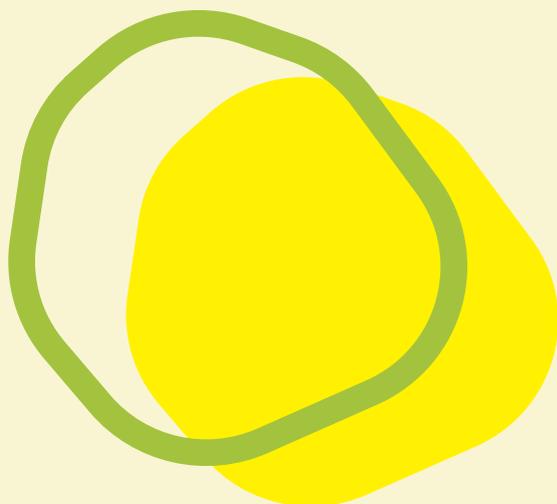


リーベ式保育士白書2024

～保育士の離職を防止し、保育士と子どもが輝く園を増やすために～



「発行目的」

厚生労働省の調査によると、令和4年10月の国内全職種の有効求人倍率1.35倍と比較し、保育士の有効求人倍率は2.49倍。保育士・幼稚園教諭は、将来なりたい職業のランキングでは上位に入っているにもかかわらず、実際の職場では定着率は低く、慢性的な人手不足に悩む園は少なくありません。

また「異次元の少子化対策」として、こども家庭庁は2024年度から保育士1人がみる4~5歳児の数を定めた配置基準を、現行の30人から25人とする方針を決めました。これによって保育人材の確保がこれまで以上に重要になると考えられます。

リーベでは幼児向けの運動指導「リーベ式運動あそび[®]」と、保育者向け研修「保育者クルクル研修」を行っており、これまで500以上の園を訪問してきました。そこで出会った多くの保育者から、こんな声が挙がってきました。

「働いていると指導案を書くこと、色々な計画で頭の中がいっぱいで"楽しい"から遠ざかる」「"ねらい"を考えて保育をしなければならない。でも、保育は楽しまなければならないと、なんだかしんどい気持ちでいっぱい」「"みんな一緒に""足並そろえて"と、"~ねばならない"と考えてしまう」。

一人ひとりの保育者は、保育を楽しんでいると感じながら子どもの成長と一緒に喜んでいるのでしょうか。保育業界全体が「ねばならない」に縛られて余裕をなくしているのでは…と危惧しています。

保育者が「ここでずっと働きたい」「保育って楽しい!」と思える園を増やしていきたい。そんな思いから初の白書を発行します。

「就職と退職の理由」

🌟 保育職への就職を決めた理由は「保育者になることが夢だった」が8割

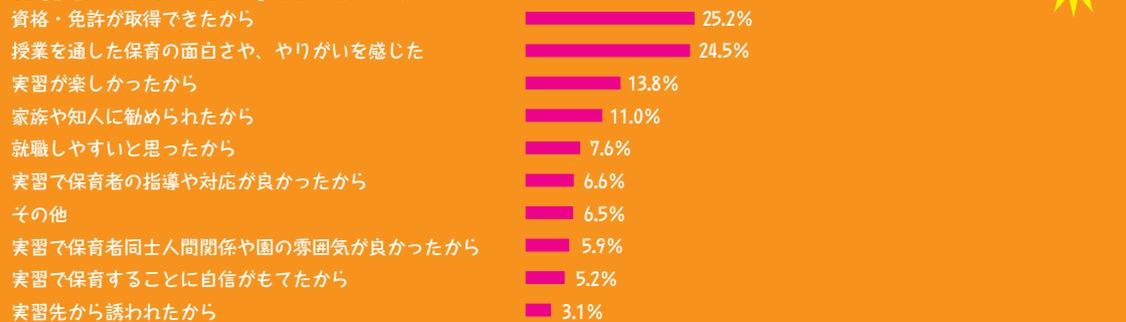
一般社団法人全国保育士養成協議会が、令和元年度保育士養成施設卒業予定者へ行った調査では、就職決定先または就職希望先が保育職（保育士・幼稚園教諭）養成校の学生が保育職への就職を決めた理由の1位は「保育者になることが夢だったから」で78.6%。続いて「資格・免許が取得できる」「保育の面白さややりがいを感じた」からと、将来に希望を持った非常にポジティブな理由が挙がっています。

また、各社が調査した将来なりたい職業のランキングでも、保育士・幼稚園教諭は毎年小中高女子のトップ10に入っており、人気の職業です。

※小学生総合7位(株式会社ベネッセコーポレーション,2022)、中学生女子6位(第一生命保険株式会社,2023)、高校生女子4位(同)等

【保育職への就職を決めた理由】

保育者になることが夢だったから



※一般社団法人全国保育士養成協議会（2019）「令和元年度指定保育士養成施設卒業者の内定先等に関する調査研究」より上位10項目をグラフ化した

🌟 表向きは転職、結婚。本音は「人間関係」。～園に伝える離職理由にギャップあり～

学生時代の夢をかなえて保育士になったにも関わらず、離職率は公営保育所 5.9%、私営保育所 10.7%と、離職する保育士は少なくありません。（保育士の現状と主な取組，厚生労働省，2020）また平均勤続年数は、医療・福祉分野の他の職種間及び産業計と比較すると、35歳以上の年齢層における職場定着率が低くなっています。

（令和4年版厚生労働白書—社会保障を支える人材の確保—，厚生労働省，2022）

なぜ離職を選ぶのでしょうか。令和4年度東京都保育士実態調査報告書によれば、平成29（2017）年4月から令和4（2022）年3月までの東京都保育士登録者等（書換え登録等を含む）52,856人を対象に調査を行ったところ、退職理由の1位は「人間関係」、続いて「仕事量が多い」「給与が安い」「健康上の理由（体力含む）」「労働時間が長い」でした。

【保育士を辞めた理由】

職場の人間関係



出典：東京都保健福祉局(2023)「令和4年度東京都保育士実態調査報告書」

一方、施設長（所長や園長）は離職理由をどのように聞いているのでしょうか。
大阪府社会福祉協議会所属の調査によると（保育士の早期離職と離職防止の取り組みの実態—大阪府内の私立保育施設への質問紙調査より—、木曾陽子ら、2020）、過去3年間に早期離職者がいた施設（242ヶ所）に、施設側が把握している理由を複数回答で尋ねたところ、上位5つの理由は順に「転職（他の保育・幼児教育施設）」「結婚」「転職（保育士以外の職業）」「家庭の事情」「仕事への適性がない」でした。

つまり、離職者の本音は人間関係や職場側の問題。一方で、施設長は保育者の適性やライフステージの変化が理由であると捉えていることが分かります。

次に、リーベが調査した保育士の生の声をご紹介します。

悩みや辞めたいと思った理由

- ・職員同士の人間関係、そんなところで悩みたくはないけど、でもそんなところで悩んでしまう時期があって。その時が一番しんどかった。そうなっちゃうと子どもの事が考えられなくなるし、いちばんかわいいのは子どもなのに、その子どもにも目を向けられないくらい気持ちが沈む時があって…
- ・上の先生からの「圧」が強くて、気持ちがしんどくなって。子どもたちの好きなことを運動会でしたい！って言っても、「4歳はもっとこんなことが出来るから、4歳はこう！」みたいな…
- ・子どもがしたくないことでも園の方針で、させなければならぬ苦しみがある。
- ・行事に力を入れている保育園で、ちょっと自分がついていけない部分があって、そこで結構悩んで…。

仕事が楽しいと感じる理由

- ・先輩に恵まれたなっていうのをすごい感じるんですよ。すごい気にかけてくれたり、フォローしてくれたりとか。言葉掛けとか自然にしてくれる先輩が多くなって。
- ・園長先生も、主任先生も思うようにやって良いつついつも言ってくれる。失敗しても笑ってくれる。そんな環境が、この職場でよかったと思える理由。
- ・上司がすごい理解してくれるんですよ。私が言ってることに對して「あ、それちょっと違うな」って思われたとしても、私が自分で後々「あ！こうしたらよかった」って気づくまで必ず見守ってくれるんですよ。
- ・（保護者対応が悩みで）保護者にうまく返せなかったことも、スキルが上がって解決したわけじゃなくて、同期に近くで支えてもらったり、共感してもらったりがあったから乗り越えてこられた。
- ・みんなお母さんみたいな「好きなことやって！」っていう感じの先生たちばかりだからこそ、こっちも自由にできて、子どもたちとも遊べてっていう。この環境そのものが、やってよかったっていうか。常に、ここはいいなって思います。
- ・上の先生が温かく見守ってくれているから自分の心にもゆとりが生まれて、今こうやって楽しませてもらうんだなあって。些細な事でも何でもすぐに直接相談できる。

「保育者研修事例と参加者の声」

❁ 「楽しい」の中にこそ学びがある

リーベは、楽しく学べ、園のチームビルディングにもつながるような時間が非常に大切だと考えています。そこで行っているのが「保育者クルクル研修」。「研修」とは言うものの、オリジナルゲームで仲間と一緒に全身で「楽しい」を感じてもらい、体も心もほぐす時間です。研修では、日々の悩みやストレスから解放され、素直に自分の気持ちと向き合うことで気づきや学びが生まれます。研修後の感想は本当に前向きなものばかりです。「早く子どもたちに会いたい！」そんな声が毎回聞こえてきます。「明日からは～してみよう！」「もっとこんなふうにしてみよう！」と明日につながる学びを自ら得て下さいます。



❁ 楽しく学べる理由

一般的な幼児保育業者の実技研修は、跳び箱、鉄棒、マット運動などの技術指導のポイントや補助方法を伝える、また子どもに必要な動きを子ども役として体験する内容が多く占めています。一方「保育者クルクル研修」では、先生という立場を忘れ、まるで子どもに戻ってしまったかのようにハシャギ楽しめる、とにかく大人が夢中になる遊びを体験します。なぜならその状態こそ「学び」が生まれる最高の状態だからです。楽しい時にこそ、素直に自分の気持ちと向き合うことができ、楽しい時にこそ、自分の気づきを素直に前向きに受け入れられる。そのため「笑いながらハツとする」をテーマに掲げ、研修プログラム構成を行っています。

❁ 構成の一部をご紹介

立場の逆転が起こりやすいあそびを多く採用！普段は上司、部下の関係でも、あそびの中では関係なし！ゲーム中に部下が上司を見下ろしちゃろ!?普段は失敗をしない完璧な上司が部下の前で大失敗をして赤面!?そんな立場逆転の場面を自然と引き出します。

❁ 研修を受講した保育者、園長先生の声

- ・園長もベテランも中堅も初任も、それぞれの立場を忘れて、みんなで大笑いしながら過ごせた時間。幸せホルモンが増えた事は間違いない！
- ・とにかく楽しかったです。本当に自分が大人だということを忘れて、ただ気づくと大笑いしていました。日々の保育の中だと「楽しさ」より「先生」「大人」などの枠の中にいて頭でっかちだったな…と思いました。
- ・参加している先生たちが笑ってる。園長先生も副園長先生も笑って楽しんでる。やっぱりみんな素敵保育者なんだ。当たり前のことなのにみんな少し疲れてた？悩んでた？先生たちも「楽しい先に育ちがある」ことがわかりました。
- ・保育の経験に関係なく、話し合ったり、行動したり、笑ったりと普段の園内でも職員が同じことで笑い合えたり、考えたりできると、もっとチームワークが良くなるのではと思うとワクワクします。子どもたちに自由度の高い保育をおこなっていると思っていたのですが…声のかけすぎ、指示はまだ多いなど…明日からもっと子どもたちを信頼して保育をしていきます。ますますこの園の職員が好きになります。良いメンバーに恵まれているなと感じた研修でした。
- ・「～せねばならない」でがんじがらめになっている先生たちの心も体も解放されているのがわかりました。立場の違いはあるけれど、今日のあの笑顔が職場で発揮できるように私の仕事をしていきたい。何より、私、久しぶりに叫んだ、楽しかったな、子どもとずっと遊ぼう！先生たちとずっと話そう！とそんなことを思いました。
- ・同じ職場の先生たちと、こんなにも1つのことで笑い合えたのがとても嬉しい！！私の園の先生たち、素敵やなあ、と再確認できました！

保育士研修の効果を専門家と検証

「保育士って楽しい!」と思える研修で、仕事に前向きになる。学びへの意欲や園への愛着を高める可能性

リーベは2023年6月から大阪大学大学院 人間科学研究科 秋保亮太助教の協力を得て、「保育者クルクル研修」が、受講者にどんな効果をもたらすかを検証しています。研修の受講前と受講後にアンケート（2024年1月現在n=148）を実施し、仕事や園、同僚や上司に対する意識がどう変わったか、研修によって新たに意識するようになったこと等を数値化し、調査しています。現在分析中ですが、結果を一部ご紹介します。

リーベの研修受講者へのアンケート結果から

研修前と後のアンケート結果から、特に、**ワークエンゲージメント**が高まることが分かりました。

また、関連する結果として以下3つをご紹介します。

- 1 ワークエンゲージメントが高い保育者は、非生産的行動^{*1}を取ることが少ない
- 2 ワークエンゲージメントが高い保育者は、学習志向的ワークモチベーション^{*2}もあわせて高い人が多い
- 3 ワークエンゲージメントが高い保育者は、組織コミットメントの愛着要素^{*3}もあわせて高い人が多い

以上のことから、研修によってワークエンゲージメントが高まることで、ひいては意識や行動に関して良い効果が期待できるかもしれません。

具体的には、非生産的行動が減少する可能性があるだけでなく、学習志向的ワークモチベーションや組織コミットメントの愛着要素も高まる可能性があります。リーベの研修が保育の質向上、チームカアップ、さらには離職防止などに貢献していけるよう、今後さらにコンテンツを増やし充実させていきたいと思えます。

ワークエンゲージメント

職務に関する前向きで充実した心理状態のこと
(Schaufeli et al., 2002)

活力

職務中に高いエネルギーと精神的に立ち直る力を持つこと

没頭

職務に集中して楽しく没頭することを指す

熱意

自らの職務に深く関わり、意義や誇りを感じることに

(Shimazu et al., 2008)

?

※1 非生産的行動

組織のウェルビーイング（幸福・健全性など）に害を及ぼす行動のこと（Rotundo & Sackett, 2002）。具体的には、逸脱行動（他の人と異なる行動を取る、仕事のやり方を間違えるなど）、サボタージュ（備品を粗末に扱う、休憩を長く取るなど）、窃盗、不平不満を言うなどが挙げられる（Bennett & Robinson, 2000 ; Spector et al., 2006）。

※2 学習志向的ワーク・モチベーション

「ワーク・モチベーション」とは、職務上の目標に向けて行動を方向づけ、活性化し、維持する心理的プロセスのこと（Mitchell, 1997）。
「学習志向的ワーク・モチベーション」は、職務に関する知識や能力を学習しようとするワーク・モチベーションのことを指す（池田・森永, 2017）。

※3 組織コミットメントの愛着要素

「組織コミットメント」とは、個人を組織に結びつける心的状態のこと（太田・岡村, 2013）。
「愛着要素」は組織に対する情緒的な結びつきや愛着の側面を指す（正木・村本, 2015）。

【秋保亮太助教のコメント】

秋保亮太 大阪大学大学院 人間科学研究科 助教 博士（心理学）

私は、心理学の観点からチームワーク、リーダーシップ、ワーク・モチベーションなどについて研究をしています。日本国内の保育士の有効求人倍率は、2016年以降一貫して全職種平均の2倍近くで推移しており、人手不足が問題視されています（厚生労働省, 2022）。その原因の1つに、働きやすい職場のあり方や、より良いチームワークの育み方などが日本国内でほとんど議論・検討されてこなかった点が考えられます。本研究は、保育者が働く際の意識（意欲や愛着など）に関連する要因の解明に迫りました。本研究で得られた知見が、将来の保育士志望者を増やしたり、離職率を減らす一助になれば幸いです。





保育に関わるみなさまへ

リーベ代表・阪田の思い

<良い園は保育者にゆとりがある>

私はこれまで多くの園に行かせていただき、保育者がゆとりを持って子どもたちと関わることができているかどうか、保育の質を高めるにはとても重要だと痛感してきました。保育者の心身の状態次第で、子どもは愛おしい存在にもイライラさせる存在にも変わってしまいます。保育者のゆとりを生み出す環境づくりこそ、保育の質を高めるはじめの一歩だと考えています。

具体的には、

「同僚・上司との良好な関係性」「共感できる保育方針」「ワークライフバランス」がそれぞれの園内で保てるようになることが理想です。

「保育者は子どものことを考え、経営者は保育者のことを考えて園を運営する」ことは多くの方が意識されていることだと思います。しかし、保育には明確な正解・ゴールがないのに対して、経営は数字で結果が出ます。そのため、管理職の方々は、経営の目線で数字を追うあまり保育者のことをこの次にしてはいないでしょうか。

<子ども中心の園に>

私は、子どものよりよい育ちのためには「保育施設経営＝保護者の”気持ちをつかむ」という意識を変えなければいけないと思っています。「保育は保護者に楽をさせるサービス」「保護者の満足度を高めなければいけない」と保護者を「お客様」のように考え、保護者も、子どもではなく自分たちが満足する保育を求めていることが多いように思います。

あくまでも、子育ての主体は保護者にあり、園・保育者は保護者を支援する立場です。そのため、保護者が負担に感じることで、子どもにとって必要な場合は、保育者が保護者に行動を促す必要もあります。園は、子育ての楽しさ、難しさを保護者・保育者ともに共有するべき場であり、これができる園こそ、人気の園にならないといけません。ところが、実際は難しい。現状を変えるためには、子どもが中心であるということをもまず園が認識し、そこから保護者の意識改革を行うことが必須だと思います。

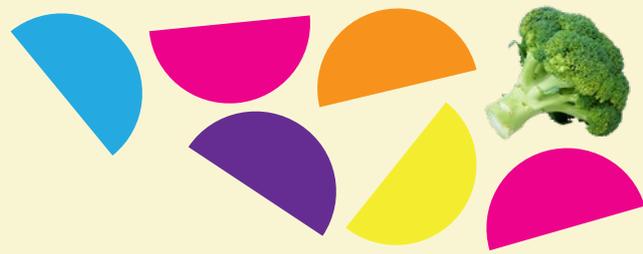
ビジネスの構造上、保護者が保育料を支払うこと（お客様）に変わりはなく、園側が、保護者を教育することに抵抗が感じられるかもしれません。しかし、その気持ちは払拭し、保育業界全体で「子ども中心の保育」にしていかなければならないと思います。子どもの健やかな育ちをお手伝いしながら、保護者も保育者も一緒に子どもの成長を喜び、園の「ファン」になる。そんな園づくりをリーベは後押しします。園児、保護者、保育者が楽しくてしょうがない園を作っていきましょう！



・新たなメディアを作って現場の声を伝えています

リーベは「エプロんどうぼう」と題した、保育者による保育者のための生き方探求メディアを作り、インタビューは年間20人、会合は年8回ほど行っています。少し自信をなくしてしまった先生は現場で輝く先生の姿を知ること、気づきや、仕事へのやりがいをもう一度思い出してほしい。保育業界で働くことを迷っている方には、保育の素晴らしさを知っていただきたい。そんな願いをこめています。

詳しくはエプロんどうぼうサイト URL ; <https://apron-dorobo.com>



◆阪田隼也 プロフィール

びわこ成蹊スポーツ大学「幼児体育」専攻、学生時代にキッズサッカープログラムを運営。卒業後、京都市内小中学校にて、保健体育科講師として勤務。その際、運動が嫌い、遊ばない子どもを見て、就学前の体づくりの在り方に疑問を持ち、「子どもの心と体を思いやり満たす運動プログラムを提供したい」と、2012年、リーベ式運動あそび®を開発！大人も子どもも関わるみんなが楽しくなる運動あそびを実践中。

2005.04 びわこ成蹊スポーツ大学入学「幼児体育」専攻 キッズサッカープログラム運営

2009.04 京都市内小中学校にて、保健体育科講師として勤務

2011.04 エルフェデザイン株式会社入社 西日本エリア運動あそび指導・環境デザイン担当

2012.04 リーベ起業 リーベ式運動あそび®の開発・指導を開始

2019.09 株式会社リーベ設立 楽しい運動あそび・楽しいおとな研修・楽しいこども遊具の3つの事業部を新設

2022.02 楽しいほいくメディア事業部を新設

<有資格>

小学校教諭一種免許状/中学校教諭一種免許状(保健体育)

高等学校教諭一種免許状(保健体育)/スポーツ指導基礎資格(スポーツリーダー)

(公財)日本サッカー協会公認キッズリーダー資格U-10

(公財)日本サッカー協会公認C級コーチ

◆リーベ研修実績

・研修実施の自治体数25地域以上、保育園数 66園

・参加した保育者延べ数3481人以上

【2023度研修自治体・団体】 京都府2、東京都1、大阪府1、兵庫県1(計5地域)

【2023度研修園】 滋賀県4、京都府3、大阪府2、岐阜県2、兵庫県1、宮城県1(計13園)

東京都私立幼稚園教育研修会(東京都千代田区)京都市小規模保育協議会(京都府京都市)羽曳野市立幼稚園・こども園合同研修会(大阪府羽曳野市)美方郡保育士研修会(兵庫県美方郡)南丹市立保育所・幼稚園・幼児学園・こども園職員連絡協議会(京都府南丹市)さくらんぼKIDS(京都府京都市)おひさまKIDS(京都府京都市)永興藤尾こども園(滋賀県大津市)認定こども園みのり(滋賀県草津市)認定こども園あそびの丘(兵庫県たつの市)ひなぞくこども園(滋賀県守山市)草津大谷保育園(滋賀県草津市)もずめこども園(京都府向日市)豊木認定こども園(岐阜県揖斐郡)チャイルドルームきいろいくまさん(宮城県仙台市)池田こども園(岐阜県揖斐郡)ピヨピヨ保育園(大阪府松原市)こぐま保育園(大阪府大阪市)

◆リーベ会社概要

社名	株式会社 リーベ
所在地	〒520-0113 滋賀県大津市坂本6-7-51
代表取締役	阪田 隼也
創業	2012年4月1日(法人設立2019年9月2日)
事業	楽しい運動あそび 事業部 楽しいおとな研修 事業部 楽しいこども遊具 事業部 楽しいほいくメディア事業部

「リーベ・楽しい」で検索 🔍

<https://liebe-japan.com/>

